

令和元年6月26日現在

機関番号：32101

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2018

課題番号：16K00792

研究課題名（和文）「きもの」文化の伝承と海外発信のための教育プログラムの展開

研究課題名（英文）The development of educational programs for the tradition of Kimono culture and the transmission to foreign countries

研究代表者

扇澤 美千子（OUGIZAWA, MICHIKO）

茨城キリスト教大学・生活科学部・教授

研究者番号：60176005

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では日本のきもの文化の伝承と海外発信のための教育プログラムを展開するために以下の研究活動を行った。1. 伝統文化をふまえた衣生活・服飾文化の伝承をめざす教材・資料の充実と発信、2. ゆかた着装の体験学習を含めた教育プログラムの実践とその効果検証、3. きもの文化を海外へ発信するための国際交流活動プログラムの整備

まず、新たに教材・資料を作成・発信、教育内容・方法を検討し、きもの文化の理解を深める授業実践により日本文化の良さを自らが発信できる人材の育成を目指した。さらに、海外でゆかた着装ワークショップを実施するとともに海外にきもの文化を紹介し、相互理解の基盤となるプログラムを構築した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

きもの着装動画教材や資料の作成、HPの開設によって多くの人が手軽に利用できる環境が整い、これにより、教員、生徒、および一般にも広くきもの文化の学びの場を提供することができた。伝統文化をふまえた教育プログラムを実践し、開発した教材と関連した授業内容が公表されることで、教員が学び、選び、授業を組み立てる基盤とすることができた。新しい授業展開の可能性を広げ、日本文化の良さを自らが発信できる人材の育成につなげた。きもの文化を海外へ発信するための国際交流活動の実践及びアンケートによりきもの文化がどのように理解されているかについて明らかとなり、海外でのきもの文化への理解を推進することができた。

研究成果の概要（英文）：We study the followings in order to encourage interests for Kimono culture of the young group and to make the foundation of an international exchange and a mutual understanding on the basis of previous practices and researches. Enhancement and dissemination of educational materials and documents which aim to tradition of the costume and the clothes life on the basis of traditional culture. The practice of educational programs including experience learning of wearing Yukata and the verification the effect of it. The program arrangement of international exchange activity to transmit “Kimono” culture to foreign countries.

研究分野：被服

キーワード：ゆかた着装ワークショップ 着物文化の伝承 海外発信 教育プログラム

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

申請者らは、これまでの活動の中で、ゆかた文化を中心に伝統文化をふまえた衣生活・服飾文化の伝承を目的としたDVD教材、資料等を製作、ホームページ(HP)等を通じた国内外への発信、中学校・高等学校における授業実践を行ってきたが、教員のきもの文化の知識が十分でないことや、ゆかた以外のきもの文化の教材・資料の不足が指摘され、教育現場への導入には課題が多いことが示唆された。きもの文化の学習を教育現場に根付かせるためには、動画教材を含めた教材・資料を充実させ、教員自身が学び、選び、授業内容をアレンジできる教育環境の整備が求められていた。

現在、きものは冠婚葬祭や季節のイベントに用いられる機会が残っているのみで、日常的に着用される場面は少ない。ゆかたの着装を扱う授業実践も多くはない現状にあり、生徒のきもの文化を継承し尊重しようとする意欲や態度をはぐくむためには、きものへの興味・関心を引き出す授業内容やその方法についてさらなる検討が求められていた。

また、申請者らは、すでに、海外でもゆかたの着装を含むワークショップを実施してきたが、さらなる内容充実のため、ゆかた以外のきもの着装(小紋、袴、振袖等)、通過儀礼に着装されるきもの(白無垢、打掛、振袖等)や文化的背景の紹介、きもの歴史、模様等を含めて、日本の伝統文化を世界に発信してゆくための新たなプログラム整備が求められていた。

### 2. 研究の目的

本研究では、日本のきもの文化の伝承と海外発信のための教育環境の整備ときものに対する興味・関心を引き出す教育プログラムの構築を目指し、下記を目的とする研究を行う。

1. 伝統文化をふまえた衣生活・服飾文化の伝承をめざす教材・資料の充実と発信
2. ゆかた着装の体験学習を含めた教育プログラムの実践とその効果検証
3. きもの文化を海外へ発信するための国際交流活動プログラムの整備

### 3. 研究の方法

(1) 若年層のきもの文化への興味・関心を喚起し伝統文化をふまえた衣生活・服飾文化を伝承するための教材・資料の作成と発信を目指し、生活の中で比較的着る機会が見込まれるきもの(小紋・羽織・袴等)の着装手順を撮影し、編集、ナレーションを付け、大学ホームページ等で広く公開する。さらに、通過儀礼において着られるきもの、きものの変遷・染色・文様等についての資料を作成する。これらの教材は、家庭科教員が閲覧することによりきもの文化についての知識を深め、生徒が自主的にきもの着装を学ぶことができるものとする。上記で計画されている動画を含めた教材の英語版を作成する。

(2) ゆかた着装の体験学習を含め、伝統文化をふまえた衣生活に関わる教育プログラムを実践し、授業前後にアンケートを実施し、意識・理解度を確認するとともに、様々な形式・内容の教材が、生徒のきもの文化に対する興味・関心にどのような効果をもたらすか検証し、これらの内容を教員対象の講習において紹介する。また、大学においては、教員免許取得予定者を対象に、タブレット端末を用い、手で資料をみながらきもの文化を学ぶ授業形態について検討し、さらには教員免許更新講習においても取り上げ、家庭科教育におけるきもの文化教育の啓蒙につなげる。

(3) きもの文化を海外へ発信するための国際交流活動プログラムを計画・実施し、ワークショップのための資料や方法論を蓄積する。ワークショップでは、ゆかたの着装のみならず、きものについてレクチャーを行い、実物の振袖や袴などの着装姿も紹介し、日本文化振興と文化交流を図る。

(4) 以上の成果をホームページや学会等で報告する。

### 4. 研究成果

科研費活動報告として、伝統文化をふまえた衣生活・服飾文化の伝承に関する教材・資料の作成と国内外への情報発信のためのHPを開設した。主な研究活動とその成果を以下に記す。

「きもの文化の伝承と海外発信をめざして」<http://kimono-education.ynu.ac.jp>

#### 2016年度

教材・資料として「名古屋帯を用いた街着(小紋)の着装」DVD、ペットボトルに着せ付ける「ミニチュアゆかた製作」のプレゼンテーション資料を作成した。さらに、「結婚式」に関連した和装についての動画、「きものと祭り」「ひな祭り」「制服の変遷」に関するプレゼンテーション資料を作成し、これらを利用した授業計画を提案した。完成した資料によって、和装や日本文化に関する情報提供の選択肢を増やすことが可能となり、教育現場において教員自身が学び、選び、授業内容をアレンジできる教育環境を整える準備を進めることができた。

国際交流活動としては2016年9月にハワイへ赴き、ゆかた着装を含む体験的な授業実践を行った。Damien Memorial School(高校)、University of Hawaii(ハワイ大学 マノア校)、Hawaii Tokai International College の3か所でワークショップ(WS)を開催した。ゆかたの着装のみならず、きものについてレクチャーを行い、実物の振袖や袴などの着装姿も紹介し、日本文化に対する理解と文化交流に貢献するとともに、国際交流活動プログラムの新たな方法について検討した。

## 2017 年度

「ミニチュアゆかた製作」とゆかた着装を含むきもの文化学習の授業実践を行い、ゆかたの着装や縫製の技能面と、もったいない精神や礼を表す精神面の学習効果をねらった教育プログラムを提案した。また、中学校・家庭分野・衣生活領域における ICT を活用した教材作成と授業提案をもとに、高校での授業プログラムを検討・授業実践を行い、学習効果について考察、生徒の興味・関心を引き出す家庭科教育プログラムの整備を図った。

国際交流活動としては 2017 年 9 月にアメリカ・サンフランシスコ ( UC Berkley, South San Francisco High School, EL Camino High School ) および 2018 年 2 月にタイ・コーンケン県 ( Khon Kaen University ) にてワークショップ ( WS ) を実施した。また、2017 年 8 月には ARAHE アジア地区家政学会大会のエクスカージョンとして WS を行った。主な内容としてはゆかたの着装、きものについてのレクチャー、実物の七五三用着物から代表的な模様を探し出す模様ワークを実施した。振袖や袴などの着装姿も紹介し、日本理解と文化交流に貢献、国際交流活動プログラムの整備を図った。国内でも 2017 年 6 月～11 月の間に中学校等 ( 6 か所 ) でゆかた着装 WS を開催、その方法論を検討することにより、家庭科教育プログラムの整備につながった。また、これまでの成果を口頭発表 ( ARAHE、日本家政学会、日本家庭科教育学会 ) や論文 ( 日本家庭科教育学会誌、日本家政学会誌、茨城キリスト教大学教職課程論集 ) として公表した。

## 2018 年度

e-learning 教材「ミニチュアゆかたの縫い方がわかる」の動画作成、模様ワーク e-learning 教材「伝統模様を学習するシャッフル教材」を開発して HP に公開した。また、文化ファッション研究機構 HP「きもの文化の伝承と発信のための教育プログラム」：<http://kimono-bunka.ynu.ac.jp> ( 縫い方が分かる縫い方、ゆかたとは、番外編他 ) の英語訳を推進し、全ての内容の英訳が完了した。これにより、伝統文化をふまえた衣生活・服飾文化の伝承のための教育環境の整備が進んだ。

国際交流活動としてはイタリア WS ( 2018/9/12～2018/9/19 : Ca'Foscari University of Venice、Istituto di Istruzione Secondaria Daniele Crespi 高校 ) を実施した。WS の内容としてはゆかたの着装、きものについてのレクチャー、さらに新たなプログラムとして日本舞踊の実演と見立てワークを実施し、日本理解と文化交流に貢献し、新たな国際交流活動プログラムを整備できた。また、これまでの成果を口頭発表 ( 日本衣服学会、日本家政学会 ) や横浜国立大学教育学部紀要で公表した。

## 5. 主な発表論文等

[ 雑誌論文 ] ( 計 5 件 )

大矢幸江・薩本弥生・水野鏡子 教育支援教室におけるゆかた着装体験が生徒の情緒に及ぼす影響、横浜国立大学教育学部紀要 I、教育科学、査読無、第 2 集、2019.2、59-71

[https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=9616&item\\_no=1&page\\_id=59&block\\_id=74](https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=9616&item_no=1&page_id=59&block_id=74)

福田幼子・薩本弥生 着物文化を伝承する家庭科の教育プログラムの開発 - 中学生を対象に伝統模様を題材として -、横浜国立大学教育学部紀要 I、教育科学、査読無、第 2 集、2019.2、72-94

[https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=9615&item\\_no=1&page\\_id=59&block\\_id=74](https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=9615&item_no=1&page_id=59&block_id=74)

大矢幸江・薩本弥生、ゆかた着装授業と着装後ワークがきもの文化への興味関心に及ぼす効果 ( R )、日本家政学会誌、査読あり、第 69 巻、第 1 号、2018.1、1-17

[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jhej/69/1/\\_contents/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jhej/69/1/_contents/-char/ja)

薩本弥生、きもの文化の伝承と発信をめざしたゆかたの着装を含む国内・国外での授業実践、横浜国立大学家政教育学会誌、査読無し、第 27 号、2017.7、1-10

大矢幸江・薩本弥生・川端博子・斉藤秀子、きもの文化伝承のためにゆかた着装体験を含む教員研修が果たす役割 ( R )、日本家庭科教育学会誌、査読あり、第 60 巻、第 1 号、2017.5、13-23 [https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjahee/60/1/60\\_13/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjahee/60/1/60_13/_article/-char/ja)

[ 学会発表 ] ( 計 6 件 )

扇澤美千子「きもの文化の伝承と海外発信をめざして」日本家政学会構成学部会 2019 年 3 月 ( 薩本弥生・川端博子・斉藤秀子・伊藤大河・阿部栄子・大矢幸江 )

大矢幸江「きもの文化学習を軸とした衣生活領域の学習」日本家政学会構成学部会 2019 年 3 月 ( 薩本弥生 )

深海康子「タイにおけるきもの文化の発信のためのゆかた着装ワークショップ」衣服学会第 70 回年次大会 2018 年 12 月 ( 大矢幸江・薩本弥生・扇澤美千子・斉藤秀子 )

Sachie Oya「Try-on Yukata classes aiming to transmit Kimono culture」19th Biennial International Congress」ARAHE 2017 年 8 月 ( Yayoi Satsumoto )

扇澤美千子「日本の伝統文化に関する資料作成の授業実践—小学校教員養成課程の学生を対象とした教材研究として—」日本家庭科教育学会 2017 年 6 月 ( 薩本弥生・斉藤秀子・

伊藤大河)

大矢幸江「ゆかた着がきもの文化への関心に及ぼす効果 - 事前の生徒の実態やゆかた着装後の活動の効果に注目して - 」日本家政学会 69 回大会 2017 年 5 月 (薩本弥生)

〔図書〕(計 1 件)

薩本弥生他 東京書籍、リフォーム・リメイク題材例集～資源や環境に配慮した製作～、ミニチュア浴衣～ミニチュアサイズの浴衣作りに挑戦しよう～、東書教育シリーズ、中学校技術・家庭科教授用資料 2017 年 10 月 6-7

[https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/ten\\_download/2017/2017118031/2017118031-01.pdf](https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/ten_download/2017/2017118031/2017118031-01.pdf)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

・科研費活動報告 HP 「きもの文化の伝承と海外発信をめざして」

<http://kimono-education.ynu.ac.jp>

・ハワイ WS 報告 2016/9/20～2016/9/26

<http://park.saitama-u.ac.jp/~hihuku/international.html> (埼玉大 HP 掲載)

<http://www.ynu.ac.jp/hus/edu/16839/detail.html> (横国大 HP 掲載)

・サンフランシスコ WS 報告 2017/9/12～2017/9/21

<http://park.saitama-u.ac.jp/~hihuku/international.html> (埼玉大 HP 掲載)

紹介動画サイト <https://www.youtube.com/watch?v=ILbqHYqPc4s> (埼玉大)

<http://www.ynu.ac.jp/hus/edu/19203/detail.html> (横国大 HP 掲載)

・タイ WS 報告 2018/2/23～2018/2/27

<http://www.ynu.ac.jp/hus/edu/20020/detail.html> (横国大 HP 掲載)

・イタリア WS 報告 2018/9/12～2018/9/19

<http://www.ynu.ac.jp/hus/edu/21274/detail.html> (横国大 HP 掲載)

<http://park.saitama-u.ac.jp/~hihuku/international.html> (埼玉大 HP 掲載)

紹介動画サイト (埼玉大)

<https://www.youtube.com/watch?v=jXqSDwXa2ZQ&feature=youtu.be>

作成した資料

・紙で作るミニチュアゆかた作りの資料 (埼玉大・横国大)

<http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/shiryo.html>

・e-learning 教材「ミニチュアゆかたの縫い方がわかる」(横国大)

<http://ynu-satsumoto-labo.ynu.ac.jp/data/mysite1/index.html>

・文化ファッション研究機構 HP 英語訳を推進 (縫い方が分かる-しるしつけ他)(扇澤)

[http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/nuikata\\_en.html](http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/nuikata_en.html)

・e-learning 教材「ミニチュアゆかたの縫い方がわかる」動画作成 (横国大)

<http://ynu-satsumoto-labo.ynu.ac.jp/data/mysite1/index.html>

・模様ワーク e-learning 教材「伝統模様を学習するシャッフル教材」(伊藤・薩本)

<http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/kimono-pattern-work/index.html>

・文化ファッション研究機構 HP 英語訳を推進

(縫い方が分かる-縫い方、ゆかたとは、番外編他)

[http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/sanchi\\_en.html](http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/sanchi_en.html)

[http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/kimono\\_en.html](http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/kimono_en.html)

## 6. 研究組織

### (1)研究分担者

研究分担者氏名：川端 博子

ローマ字氏名：KAWABATA, hiroko

所属研究機関名：埼玉大学

部局名：教育学部

職名：教授

研究者番号(8桁)：70167013

研究分担者氏名：薩本 弥生

ローマ字氏名：SATSUMOTO, yayoi

所属研究機関名：横浜国立大学

部局名：教育学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：10247108

研究分担者氏名：斉藤 秀子  
ローマ字氏名：SAITO, hideko  
所属研究機関名：山梨県立大学  
部局名：人間福祉学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：80162220

研究分担者氏名：伊藤 大河  
ローマ字氏名：ITO, taiga  
所属研究機関名：共栄大学  
部局名：国際経営学部  
職名：講師  
研究者番号（8桁）：40735073

研究分担者氏名：阿部 栄子  
ローマ字氏名：ABE, eiko  
所属研究機関名：大妻女子大学  
部局名：家政学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：30151088

(2)研究協力者

研究協力者氏名：大矢 幸江  
ローマ字氏名：OYA, sachie  
研究者番号（8桁）：50850971

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。